

保護者 各位

岡山県立岡山南支援学校
校長 木村 泰清

令和4年度 学校自己評価アンケートについて

萌芽の候、保護者の皆様には本校教育推進のために、いつも変わらぬ温かな御理解と御支援をいただき、深く感謝申し上げます。

今年度実施しました学校自己評価アンケートにつきましては、御多用の中、御協力いただきありがとうございました。アンケートの結果をもとに、校内で分析・考察した上で、学校関係者評価委員会において、外部委員の皆様から御意見をいただきました。この会議の資料及び議事録につきましては、本校ホームページに詳しく掲載しておりますので、御確認ください。

保護者の皆様からのアンケート結果を次のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

記

1 全体の概要

保護者の皆様からの回収率は、93.1%と大変高く、アンケートで実施した22項目全てにおいて、「よくあてはまる」又は「ややあてはまる」と回答された割合が90%を超えており、全体的には高い評価をいただきました。

2 特に高い評価だった項目

「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合が99%以上だった項目は次のとおりです。

13	学校は、安全に配慮して、施設設備などを整えている。(99.6%)
7	学校は、お子さまのプライバシーや個人情報の保護に努めている。(99.6%)
8	教職員は、保護者からの質問や相談に、丁寧に応じている。(99.1%)
17	「個別の指導計画(「学習の記録」)」の目標には、お子さまの実態と保護者の教育的ニーズが反映されている。(100%)
18	「個別の指導計画(「学習の記録」)」には、指導の経過や、今後の課題などがわかりやすく示されている。(99.1%)

引き続き高い評価がいただけるように取り組んでまいります。

3 比較的低い評価だった項目

「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合が90%未満の項目はありませんでしたが、95%以下の項目は次のとおりです。

1	お子さまは、楽しく学校生活を送っていると感じる。(94.6%)
11	学校は、居住地校交流や学校間交流などの交流及び共同学習や公民館活動への参加など、地域とつながりながら学習できる機会を積極的に設けている。(94.6%)
13	学校は、お子さまを取り巻く関係機関(福祉、医療、就労など)と連携を取りながらサポートしている。(93.7%)
21	お子さまの「人と関わる力」は、伸びていると感じている。(94.6%)

それぞれの項目において、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」を選ばれた理由については、自由記述欄に記入していただき、御意見を参考にして考察しました。項目1については、理由はそれぞれありましたが、大きな課題として真摯に受けとめ、一人一人の児童生徒にとって楽しい学校づくりに努めていきます。項目11については、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、活動が制限されたことも影響していると思われます。今後はコミュニティスクールの取組をさらに充実させ、地域とつながる機会を設けていきます。項目13については、「連携しているかどうかわからない」という理由があり、情報発信が不足していることがわかりました。項目21についても、それぞれの理由がありましたが、集団を意識した活動の中で一人一人に合わせて「人と関わる力」を育む指導や支援に粘り強く取り組んでいきます。

4 前年度と比較して、評価が高くなった項目

「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合が5%以上伸びている項目は次のとおりです。

1	お子さまは、楽しく学校生活を送っていると感じる。(+7. 1%)
3	学校は、安全に配慮して、施設設備などを整えている。(+5. 8%)
1 1	学校は、居住地校交流や学校間交流などの交流及び共同学習や公民館活動への参加など、地域とつながりながら学習できる機会を積極的に設けている。(+7. 5%)
2 1	お子さまの「人と関わる力」は、伸びていると感じている。(+5. 2%)

項目1と11については、昨年度と比較して7%以上と、大変上昇していました。理由については、昨年度は新型コロナウイルス感染症によって休校や行事の中止などがありましたが、今年度は制限のある中でも様々な工夫をすることによって活動場を増やすことができたためと考えられます。項目1、11、21については上記「3 比較的低かった項目」でもありますが、昨年度比では5%以上伸びていますので、本校の課題として受け止め今後も改善していくように努めてまいります。

5 全体に関わって、保護者の皆様からいただいた御意見について(抜粋)

- ・コロナ禍ですが、子どもたちの経験や学びの時期は、今しかありません。精神面や身体面への影響もあるので、あまり簡素化、短縮せず、日々の活動や行事などは引き続き取り組んでほしい。

本校の児童生徒にとって、本物を見たり触れ合ったりする体験は、大変大切な学習であるととらえています。今年度までの3年間の活動を振り返り、以前の活動に戻すことだけでなく、新しい活動を構築することに取り組んでいきます。

- ・朝の片付け、休憩時間の過ごし方、給食風景など自由参観とかで見られると嬉しいです。
- ・学校での過ごし方がよくわからないので、自由参観週間を設けてほしい。

学校での様子は連絡帳や通信で詳しくお伝えするようにはしていますが、児童生徒の支援を優先し、連絡帳の記入が十分できない日もあります。気になることについては電話でお伝えいたします。自由参観週間については、メリット、デメリット両面を踏まえて検討していきます。具体的に「この場面が見たい」という場面があれば、個別に設定いたしますので担任にお伝えください。

- ・居住地校交流の機会を増やしてほしい。健常者の理解も増えると思います。

居住地校交流は、本校の児童生徒にとっても相手校の児童生徒にとっても「地域で共に学び共に育つ」大切な学習の場面であると考えています。その一方で、担任が引率で学校を離れることによる影響や、相手校の受け入れ体制等の課題を検討していく必要があると考えています。

- ・名前を呼び捨てで子どもを呼ぶのが気になります。子どもも真似して友だちを呼び捨てで呼ぶことがあり、注意するが「先生が言っている」と言われると何も言えなくなる。
- ・去年警報が出て学校に迎えに行くと、担任がスマホで何かしていた。

御指摘ありがとうございます。教職員の不適切な言動や、誤解を招いたり不安に思われたりする振る舞いについては、深刻に受け止め、全教職員で振り返る時間をとりました。本校の児童生徒にとっては教職員の言動がモデルとなることや、人権意識の向上について再認識しました。今後とも、気になることがありましたらどんなことでも学校へお知らせください。

この他にも、「いつも親身になって考えてくださり感謝しています」「参観日、発表会で授業風景が見られるのが嬉しいです」「駅での販売(キャリア教育フェア)はできてよかった」「先生方にはとてもお世話になっており、感謝しかありません。卒業後のことを考えて厳しく接していただきありがたく思います」など、たくさんのうれしい感想をいただきました。教職員一同、励みとさせていただきます。

この紙面で全ての御意見に一つずつ回答することはできませんが、どの御意見も真摯に受け止め、今後の学校経営に生かして、よりよい学校となるように励んでまいります。今後とも本校教育の充実に、御理解と御協力をいただきますよう、お願いいたします。